



## 新年にあたり

躍進する向日市。住みよいまちを描いた上の絵は、小島義隆君（第4向陽小2年2組）の作品です。

## 市民福祉を高める施策を 清潔で誠実な行政で

向日市長 中山仙三



あけましておめでとうございます。

一九七五年の新春を、市民のみなさんには、ご家族おそろいでお迎えになつたことと、心から祝福申し上げます。

本年は、向日市にとっても、市制三年目の新春を迎えたことになり、若さあふれる都市として、前進と飛躍を期し、市民の希求する福祉を基盤とした、人間性豊かなまちづくりが高まる年としたいものであります。

わたしは、四年前にみなさんのご信託を得て再選以来、地方自治の精神を市政に徹底し、清潔で誠実な行政をめざして、都市基盤の整備や生活関連施設の充実を期すると同時に、福祉施策の拡充をはかるために、できる限りの努力を重ねてまいつたわけであります。

幸いにして、市民各位の暖かいご理解とご協力により、各種施策を推進することができます。たことに対し、厚くお礼を申し上げます。

昨年は、総需要抑制政策に伴う金融引締めによる不況、物価の高騰、インフレの進行など、経済事情はきびしく、暮らしをとりまく情勢も、深刻な様相を呈しましたが、本年もその前途は誠にけわしく多難が予想されるわけであります。殊に、地方自治体の財政は、地方財政危機と呼ばれるように、日ごとに悪化の度を増してきましたので、国庫補助負担事業にかかる超過負担の解消や地方税源の強化などを強く国に働きかけ、増大する行政需要に対処して、市民の福祉を高める施策を進めたい所存であります。

今や、政治の姿勢が、人間優先へ志向され、高福祉の追及に移行してまいっております。このようない現況の下で、本年は、公共下水道事業の推進や生活周辺の河川や道路の整備、学校施設の充実、産業振興のための環境整備、交通安全対策、市民の健康を守り、福祉を高めるための施策などが要請されております。

年頭にあたり、今後とも市政に対するみなさんの一層のご支援を賜りますようお願い申し上げますと共に、みんなのますますのご健康新年のご挨拶をいたします。

○着物のイロハを勉強（五ページ）  
 ○一月のお知らせ（六ページ）  
 ○竹刀作りに五年（四ページ）  
 ○第四回陽小を建築（四ページ）  
 ○第五回陽小を増築（四ページ）  
 ○新年にあたり（一ページ）  
 ○ことじにかける市政への期待と抱負（二七三ページ）